

前高森自治会 令和8年度定時総会の開催報告

令和8年4月26日（日）14時
前高森公民館

4月27日（日）令和8年度定時総会を、
代議員・来賓含め76名(他に委任状56人)
に出席頂き開催しました。



川村進代議員に議長の大役を務めていただき、令和7年度の事業報告及び決算報告、会計監査報告、令和8年度事業計画案及び予算案について提案説明後質疑に入り、代議員より4項目についての質疑・ご意見について、理事側から説明を行ったのち、出席代議員の賛成多数により承認されました。

今年度の活動方針として、前高森地区は開発が進み、世帯数・人口が増加傾向にありますが、一方で高齢化や時代ニーズ、負担感や関りを嫌煙する思考等から、自治会に未加入・脱会者も増える傾向にあります。

今こそ自治会に求められる役割を再確認し、基本に立ち返り「あるべき姿」を追求する必要があると考え、次年度活動を大きく見直すこととしました。

納涼祭について、昨年開催した納涼祭合同会議で参加者から頂いた意見、納涼祭当日の熱中症者の発生、今回代議員の皆さまから頂いた意見から判断すると、開催時期や熱中症対策、担当する代議員・文化代議員、理事の負担を考慮し、一度立ち止まり見直すことが大切と考え、今年度は開催を見送り、今後開催内容について検討を進めて参ります。

また、東日本大震災から15年、能登半島沖地震から2年が経過しましたが、未だ復旧半ばにあるなか、30年以内に発生が予測されている東南海トラフ地震の発生確立が、80%から60%～90%に引き上げられています。更に4月には長野県や東北地方、北海道と震度5以上の地震が頻発しています。

自然災害は地震ばかりではなく、伊勢原市でも昨年8月29日の台風10号の豪雨により、国道246号線善波トンネルでの崩落事故が発生するなど、市内各地で土砂崩れが発生し、地区内でも過去から浸水被害や急傾斜地を抱えています。

前高森自治会として「共助の力」で災害から地区住民の生命・財産を守る防災活動へ、積極的に取り組めていなかったことを振り返り、自治会活動の一丁目活動として取り組みを強化して参ります。

地域共助や地域コミュニティを最大限に生かし「誰もが安心・安全で
笑顔が溢れ、住んでみたい前高森」を創り上げてまいります。

「自分たちの住む地域は自分たちの手で！」